Central Group for life

せんとらるライナー 6号

2010年6月号
…毎月1日発行…
セントラルグループ
恵那市大井町1202-4

中古住宅に住む
増える中古住宅リフォーム

平成21年の新設住宅着工戸数はおよそ84万戸。ピークの平成2年の170万戸から半減したことになる。そうした中で中古住宅の販売が好調だ。新築よりも価格が安いだけでなく、税金面でも優遇がある。住宅取得のための生前贈与は500万円が税額控除されるので、今までの1100万円の基礎控除に加え、610万円も引かれることになる。この控除額は09年1月から対象になり、2年間有効である。

また、税制面の優遇もある。日本の住宅売買市場は新築が圧倒的に多く、中古は年間15万戸程度で13%を占めるだけだ。米国、英国では70%～90%が中古市場である。このため欧州では09年6月から「長期優良住宅法」をスタートさせて、住宅ローン減税などにより良質な中古住宅市場の活性化を推進している。

こうした中古住宅は若い世代に人気である。中古住宅には質にばらつきがあるが、住宅診断によって劣化状況や修繕費用を把握すれば、安心して購入することが出来る。住宅購入で若い世代に大きな負担となるのが購入資金。頭の資金援助等に頼らなくても、自分たちの予算でも購入できる中古住宅に人気が集まるのも当然といえる。

そして、中古住宅の強い味方となるのが、住宅診断とリフォーム。この2つが整備されてきたことで、安心して購入できるという環境が整ってきつつある。中古住宅に注目している若い世代は業者に相談するだけでなく、自分でも調べて勉強するなど、積極的に中古住宅に関わっている。

若い人たちは、自分たちで住宅診断を依頼して物件を決め、自分好みのリフォームをすることで予算面と希望面の折り合いをつけている。

しかし予算内で工事を終わらせようとするならば、事前に家の状態をできるだけ正確に把握することが重要になってくる。一見キレイに見えても、中が腐っていれば大きな金額がかかってしまう。

まずは専門の業者と購入前に家を一緒に見に行き、良く見てもらうと良い。少なくとも床下と屋根の様子はしっかり専門的に確認する必要がある。また、家は適当な時期に改修・メンテナンスを行なっていないと寿命が短くなり、何度も改修する必要ができてしまう。

そうならないためにも、前の持ち主から全ての改装の履歴をできるだけ詳しく聞くようにして欲しい。シロアリ防除工事を行っている場合には保証書が発行されているはずなので、それも見せてもらうことをお忘れなく。

間取りを大きく変えたいと言う希望があったり、リフォームでは大きな変更はできない場合、リフォームでも大きな間取りの変更は可能だが、構造的に問題が無いかどうかを確認し、補強工事を行いながら工事を進めることになるので、工事費もその分かかってしまうことになる。例えば物置の移動、廊下の巾を広げる等というリフォームは、構造部分が絡んだ大きな工事になりがちだと言うことは知っておくべきである。

快適な暮らしには、断熱性や耐震性など「家の基本性能」が大切である。築年数が古い家は、これらの性能が低いことが多く、また性能アップのリフォームには多額の費用が掛かることが現実である。

そこでガマンして住み続けるか、予算外の費用を払いつづけるかどちらかしかない…という二者択一になりがちだと言うことは知っておくべきである。

快適な暮らしには、断熱性や耐震性など「家の基本性能」が大切である。築年数が古い家は、これらの性能が低いことが多く、また性能アップのリフォームには多額の費用が掛かることが現実である。

そこでガマンして住み続けるか、予算外の費用を払いつづけるかどちらかしかない…という二者択一になりがちだと言うことは知っておくべきである。

（住宅事業部・木藤）

築10年目の点検

築10年目は、屋根・外壁・床下など、構造部分の点検やメンテナンスの大事な時期です。この時期にきちっとしていまうと、築20年目のリフォーム費用に1000万円近くの差が出てしまうこともあります。見かけがキレイだからと放置しておくと見えないところでどんどん劣化が進んでしまいます。

4月に中津川市内で築十数年の中古住宅を購入した建設部のリフォーム工事を担当致しました。

H様から購入を検討されていると伺った時に、不動産業者の立会いの下、一緒に現場を確認させていただきました。

点検口から床下を確認すると、床の下地はしっかりしていたものの、シロアリの通った「蟻道」と呼ばれる痕跡を発見したので、シロアリの駆除を提案。そのやり直しや、床板の張替・ベランダの防水処理のこと、等、ライフスタイルに合った住宅のプランニングをさせて頂きますので、お気軽にご相談ください。

（住宅事業部・木藤）

使用した廃棄物を貼ったので『以前よりも家が明るく感じる』と喜んでくださいました。

予算オーバーになってしまいがちなリフォーム工事ですが、「予算の趣予算から「どうしても実現したい」と「最低限施工保証したいこと」等、ライフスタイルに合った住宅のプランニングをさせて頂きますので、お気軽にご相談ください。

（住宅事業部・木藤）

その他、奥様の要望により、玄関・廊下に床で使用したものと同じパイン材を

（住宅事業部・木藤）

介護の現場から シリーズ -6-

Kanekuコーポレーション

LifeCare ライフケア

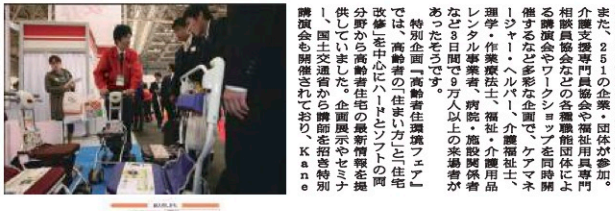
バリアフリー2010 見学レポート

Kanekuコーポレーションのスタッフ九名で2010年4月15日～17日にインテックス大阪で行われた「第16回 高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展 バリアフリー2010」を見学してきました。

このバリアフリーは社会福祉法人大阪府社会福祉協議会・テレビ大阪が主催する西日本最大級の総合福祉展であり、毎年4月中旬に開催されています。Kanekuコーポレーションでは新しい情報の収集や個々の見聞を広げるために毎年見学に行っています。

2012年の介護保険制度改正にむけて、本年のバリアフリー2010」開催は、業界関係者からの高い関心を集める時期の開催となり、福祉機器メーカーなどの出展企業からの期待も高まり、福祉・介護業界関係者にとって重要な展示会でした。また、251の企業・団体が参加。介護支援専門員協会や福祉用具専門相談員協会などの各種職能団体による講演会やワークショップを同時開催するなど多彩な企画で、ケアマネジャー・ヘルパー、介護福祉士、理学・作業療法士、福祉・介護用品レンタル事業者、病院・施設関係者など3日間で9万人以上の来場者があったそうです。

特別企画「高齢者住環境フェア」では、高齢者の「住まい方」と「住宅改修」を中心に、ハード&ソフトの両分野から高齢者住宅の最新情報を提供していました。企画展示やセミナー、国土交通省から講師を招聘する特別講演会も開催されており、Kanekuコーポレーションでもセミナー講演に出席しました。企画コーナー「ストップ!第介護～脳卒中・認知症、骨・関節疾患を防ぐ～」では、要介護の原因となる疾病予防にスポットをあて、介護予防の最新情報を提供したり「住まい方企画コーナー」では、車いすの試乗・体験・安全講習会などを開催していました。これら特別企画コーナーでは、ユーザーだけではなく、ルパーや家族などの介護者も一緒に体験・情報収集ができる内容となっていたなど工夫も見られました。私たちが出席した全国福祉用具専門相談員会主催のセミナーでは、今後の福祉用具貸与等業界の方向性についての参考になる話も多くあり、私たちが福祉用具貸与業において、サービス向上をしていくヒントが数多く得られました。

その例として、「福祉用具貸与利用計画書の作成」、「ふくせんモニタリングシートの活用」については私たちも取り入れていきたいと考えています。こうしたツールの活用も行いながら、更なるサービス向上を図り、私たちが目指す「福祉用具と住環境整備を専門としたケアサポートのプロフェッショナル」となるべく努力としていきたい所存です。

（ライフケア事業部・渡辺）